

試験成績書

No. _____

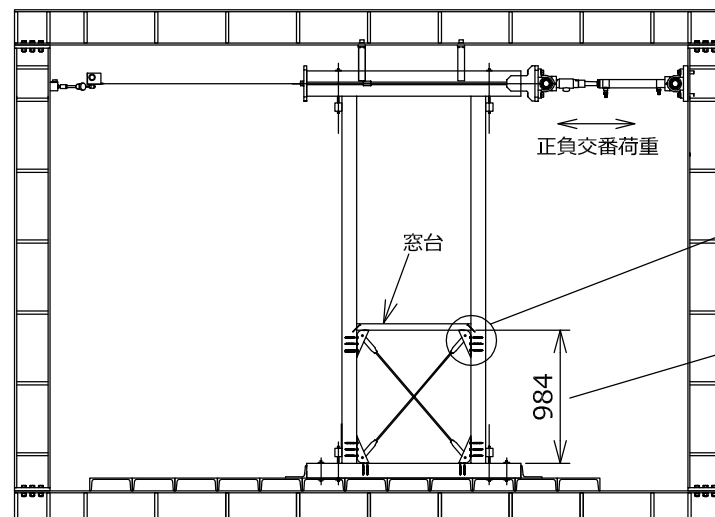
2013年 9月 24日

殿

株式会社 国元商会

大阪市鶴見区今津北3-4-27

TEL06-6962-8800(代)

試験名：コボット窓台想定試験	試験者：藤原																																																		
供試体：1.耐力壁の寸法 高さ2730mm、910mm(芯々寸法) 2.耐力壁の主要材料及び寸法 1)柱・土台：スギ105mm×105mm 2)梁：ベイマツ105mm×180mm 3)窓台：ホワイトウッド 45mm×105mm 4)コボットステンプレースシステム 3.供試体数 = 3 体	試験機：壁面内せん断試験装置(社内)																																																		
試験方法：(財)日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」の第6章に記載されている試験方法に準じて実施。  窓台と柱はコーススレッド 5×75 3本斜め打ちで固定 ※ コボットと窓台はビス固定無し ※窓台高さは以下を想定。 ・サッシ高さ=FL+900mm 土台天端から、根太高さ 60mm 下地合板 12mm フローリング 12mm 合計 84mm厚 ・よって、土台天端から窓台の高さは900+84=984mm																																																			
試験結果： <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>1体目</th> <th>2体目</th> <th>3体目</th> <th>平均値</th> <th>標準偏差</th> <th>変動係数 Cv</th> <th>k</th> <th>ばらつき 係 数</th> <th>50% 下限値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(a) 降伏耐力(kN)</td> <td>2.41</td> <td>3.46</td> <td>3.14</td> <td>3.01</td> <td>0.44</td> <td>0.15</td> <td>0.471</td> <td>0.93</td> <td>2.80</td> </tr> <tr> <td>(b) 1/120変形角時耐力(kN)</td> <td>2.06</td> <td>1.84</td> <td>1.78</td> <td>1.89</td> <td>0.12</td> <td>0.06</td> <td>0.471</td> <td>0.97</td> <td>1.84</td> </tr> <tr> <td>(c) Pmax×2/3(kN)</td> <td>3.03</td> <td>4.67</td> <td>3.83</td> <td>3.84</td> <td>0.67</td> <td>0.17</td> <td>0.471</td> <td>0.92</td> <td>3.53</td> </tr> <tr> <td>(d) Pu×(0.2/Ds) (kN)</td> <td>2.09</td> <td>2.28</td> <td>2.07</td> <td>2.15</td> <td>0.10</td> <td>0.04</td> <td>0.471</td> <td>0.98</td> <td>2.10</td> </tr> </tbody> </table> ・ 終局時、窓台下のコボット本体を留め付けている専用コーチスクリューが柱から抜けた。 (3体全て) ・ 短期基準せん断力Poは、上表評価項目(a)～(d)の中での最小値(含：ばらつき評価)であるから 1.84kN となる。 ・ 壁倍率 $1.84\text{kN} \div (1.96\text{kN} \times 0.91\text{m}) = 1.0$倍。 (左記値は社内試験値であり、指定性能評価機関が定める低減係数は含まず。) 壁基準耐力 $1.84\text{kN} \div 0.91\text{m} = 2.02\text{kN/m}$		評価項目	1体目	2体目	3体目	平均値	標準偏差	変動係数 Cv	k	ばらつき 係 数	50% 下限値	(a) 降伏耐力(kN)	2.41	3.46	3.14	3.01	0.44	0.15	0.471	0.93	2.80	(b) 1/120変形角時耐力(kN)	2.06	1.84	1.78	1.89	0.12	0.06	0.471	0.97	1.84	(c) Pmax×2/3(kN)	3.03	4.67	3.83	3.84	0.67	0.17	0.471	0.92	3.53	(d) Pu×(0.2/Ds) (kN)	2.09	2.28	2.07	2.15	0.10	0.04	0.471	0.98	2.10
評価項目	1体目	2体目	3体目	平均値	標準偏差	変動係数 Cv	k	ばらつき 係 数	50% 下限値																																										
(a) 降伏耐力(kN)	2.41	3.46	3.14	3.01	0.44	0.15	0.471	0.93	2.80																																										
(b) 1/120変形角時耐力(kN)	2.06	1.84	1.78	1.89	0.12	0.06	0.471	0.97	1.84																																										
(c) Pmax×2/3(kN)	3.03	4.67	3.83	3.84	0.67	0.17	0.471	0.92	3.53																																										
(d) Pu×(0.2/Ds) (kN)	2.09	2.28	2.07	2.15	0.10	0.04	0.471	0.98	2.10																																										
備考：この結果は試験における実測値であり、保証値ではありません。																																																			

コボット 窓台想定試験記録

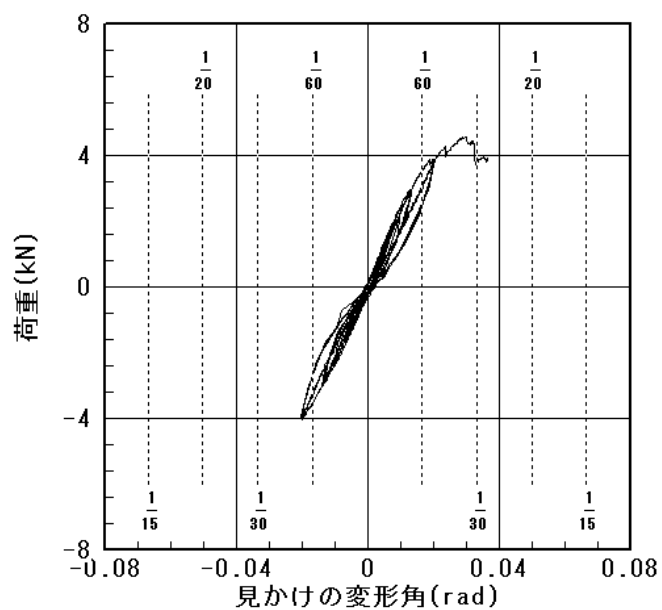


図1 P・δ 曲線（1体目）

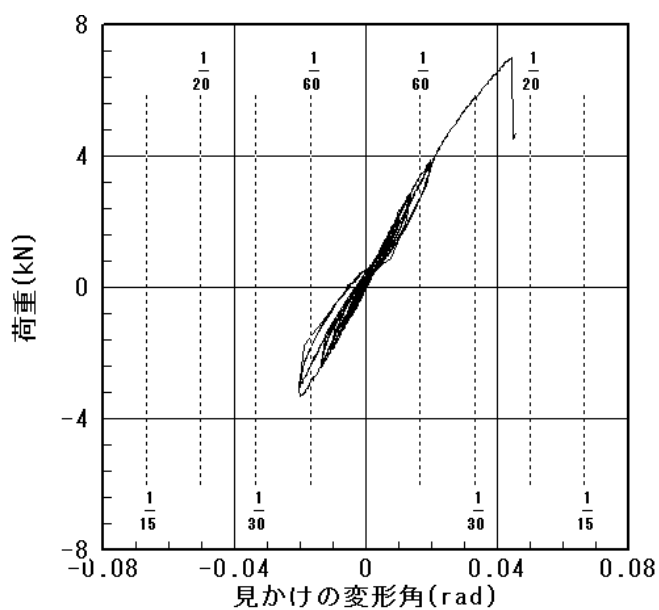


図2 P・δ 曲線（2体目）

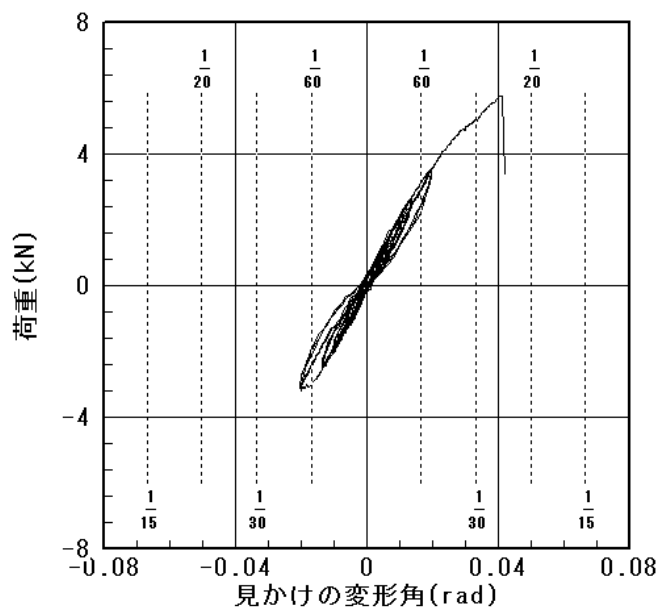


図3 P・δ 曲線（3体目）



写真1 試験前



写真2 1/30rad変形時

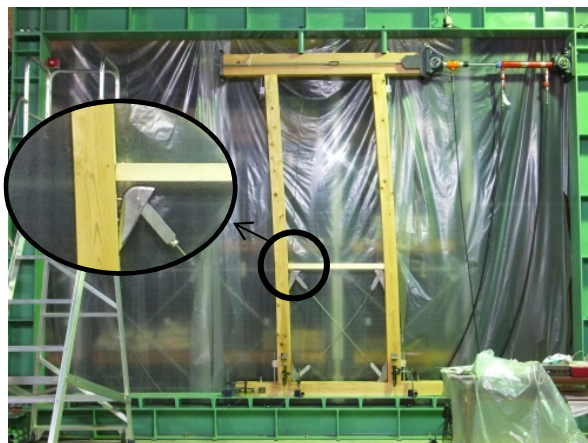


写真3 試験終了後（コボット本体ビス抜け）